評価対	象事	務事業名	高円₹	<b>与会館改築</b>				整理番号	88		枝番号	
担当部	当部課名     区民生活部管理課     コード     050101     連絡先電話番号     3755     昨年度整理番号     86											
	係名	施設計画担当				上位施策名					No	
予算事	業名	高円寺会館改築		コード	12750	文化·芸術活動	動の基盤整備				66	
			平成		年度	☑実施計	画事業   :	行革計画事業	✓協	働計画	画事業	
				臨時·単年度		根拠法令等		- <i>  </i> Tri				
	対象	☑個人  ☑世帯	<b>₩</b> ✓ <b>©</b>	団体    その	他	( )	区立区民会館 区立杉並芸術					
事務	文化·	・芸術活動を行う区民及び	関係団体	等2		( )		云暗赤例 :館改築設計	者選定	委員会	会設置要項	
事	活動区	内容(事務事業の内容、ヤ	<mark>やり方、₹</mark>	手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 優れた舞台芸術の創造と発信など芸術文化の普及振興を図						
業の概要	する。 設計 並芸	手順により、高円寺会館 資質評価型プロポー 内容の検討(16~17年度 術会館の建設工事(18~ 及び協定に基づ〈業務の	ーザルト き) 高 20年度	による設計者( 高円寺会館の) 夏) 指定管	の選定及び	優れた舞台記るための機能動の場として	<b>ヒと環境を確イ</b>	呆するとともに				
	活動技	指標名(式)	,			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
	` '	高円寺会館改築設計者				, ,		築設計者選足				
	(2)	杉並芸術会館指定管理	<b>上候伸</b> 看			( )	並芸術会館指 F度	定管理候補者	選定委員		出席延人数 <mark>目標値に対</mark>	
		区分	単位	15年度 実績	16年度 実績	計画	実績	18年度 計画	22年		する17年度の達成率%	
		活動指標(1)	回		3	4	4				ON ELIN I	
指		活動指標(2)	回			1	1	3				
標		成果指標(1)	人		17	24	23					
		成果指標(2)	人			7	7	21				
		事業費	千円	5,968	680	80,789	76,075	756,394	(拍標、爭多	業費等の	変化の理由など)	
		(内)投資的経費等	千円					736,873	導入検	討のな	見事業。PFI こめアドバイ	
		(内)委託費	千円	5,922	0	74,804	74,592	18,829	を計上	(検討	委託経費等 の結果PFI	
	職員	員数 (常勤   非常勤)	人	0.80	0.50	0.60	0.85	1.10	方式は	導入な		
総事	人件	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,195	4,550	5,436	7,701	9,966	討会及 定委員	び改算 会経費	発設計者選 費を計上。	
事業費	費	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	17年度 て、改第	…主な 発基本	は経費とし 設計及び実	
. п	総	事業費 + +	千円	13,163	5,230	86,225	83,776	766,360	施設計 18年度	…主な	は経費とし	
スト	単位は	あたりコスト( - )÷	円		1,743,333	21,556,250	20,944,000		て、旧語 工事経	哥円寺 費、杉	会館の解体 並芸術会	
把 握		受益者負担分	千円						館の建	設工	事経費及び 費を計上。	
	財	国・都等からの支出金	千円	2,000							度の建設費	
	源	特定財源計 +	千円	2,000	0	0	0	0	総額(計建設	<b>戶円</b> )	2,600,000	
		差引:一般財源 -	千円	11,163	5,230	86,225	83,776	766,360	工事	監理多	委託 63,551 2,663,551	
	受益	益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	///	, <u>.</u> .		
					内 容	容		規模	単位	事業	費(千円)	
			改築基	本·実施設計	(委託等)			1	件		72,597	
	<b>_</b>	\ (. 77/07 -	地盤・	則量調査(委詞	<del></del> 託等)		1	件		1,995		
	17年	度の主な取組み	設計·I	工事検討会開	 ]催	9	0		655			
			改築設	計者選定委員	4	回		616				
						設計関係業務、住	民懇談会開催)				212	

		1 132 10 - 152	<u> </u>	==	ナシンナ	- <u> </u>	<u> </u>			
17年 🛱	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	活動指標(1)の17 年度達成率%		0.0	活動指標(度達成	逐%	100.0	17年度予算 執行率%		94.2
	: 丁异钒仃仏况 努力·未達理由等)	予算の執行残が生 改築前に実施予 設計に係る需用配	定であ	った道	路位置明	示工事が		0		
(18年) る場合	の改革案の取り組み状況 度予算を削減または増額してい 、関連する新規事業がある場 その概要も明記)	資質評価型プロポまえて改築の基本設設備整備及び事業等とした。(18年度予算経費並びに開館までた。)	計・実施 手のあり は、旧i	施設計 方につ 高円寺	を行った。 いて検討を 会館の解 <b>な</b>	優れた を行い、指 体工事及で	:舞台芸術の原 定管理者制度 び杉並芸術会	創造と発信を行 夏を平成18年原 館の建設工事	うため 度に導 (20年	の施設・ !入すること 度まで)の
事業環	事業開始当初から 現在までの変化	改築後の施設に 施設の運営に関								
境 の	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	高円寺会館の機 まな要望と期待が大 阿波踊り関係団体	こきくな 本から、	ってい 練習	る。 幾会の増加	1と設備の	充実化への	期待が寄せらる	れてい	1る。
変化	今後の予測	21年3月の杉並芸行 ことが予測される。ま せられることが予測	た、文	化関係						
	(1)施策への貢献度は大きいか				芸術文化) 生が図られ		点整備に貢献	<b>就するとともに、</b>	、 地域	えん おうない あいま あいま はんしょ かいま しょう はい
	貢献度 大(理由 )		▼		=					
事	(2) 現在の事業費で成果を向	上させることができるが	<b>ή</b> ν	埋由記	または具体	的内容:				
業	ある程度できる( )		_							
のあ	成果向上のための方策						指定管理者の 他設機能の充	)専門的 <i>/</i> ウハ (宝を図る	ウを旨	最大限に活
り 方	その他(具体的内容 )			75 O\	WELL !!	C/H		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
点検	(3)受益者負担の見直し余地は			理由 えにく		的内容∶∄	施設整備事業	<b>美において、</b> 受	益者	負担は考
	ない(理由 )		▼	/C IC \	V 10					
	(4)コストを下げる余地はあるか	<b>.</b>					本施設に求め 査して算出し	られる機能の たため	確保	や安全管
	ない(理由 )		▼	) <u>+</u>  C	7	MI E CTR	互りて弁山で	7121200		
	(1)協働等は実現しているか			協働	等の今後の	あり方・	<u> </u>	±	O 1=	
協	一部実現している( へ )							売 ● 推進		
働等点:	(2)協働等の相手		· <u> </u>					決を経て指定 術会館の管理		
	企業・個人事業者(へ)			る。16	~ 17年度	こ舞台芸	術や建築関係	系者等との協働 ている。また、	動によ	り、改築設
17	(3)協働等の形態 指定管理者(具体的内容			トナー	として演劇	以帰省の 関係者や	)選延を15つ 9阿波踊り関	ている。また、 係者などとも協	フ1反、 弱動関	遅らハー  係を築い
	<b>加水目注句(具)的内容</b>	1		ていく	0					

今後	成果∶ ●	増	現状維持	○減	コスト:	○増	○現状維持	◉ 減
の	(1)改革案の概要	更(いつまでに、	どういうかたちに	こ) 事業(	のあり方点検欄	を踏まえて記ん	λ	
事業	平成20年3月( <del>-</del>	予定)の杉並芸	芸術会館の開館	官に向けただ	施設建設及び	「整備を、指定	管理者等との密接な	は連携のもとに進めてい
の	ζ.							
あり								
方	(2)改革案を実施	<b>するにあたっ</b> つ	ての阻害要因と	克服方法				
争			沿った機能の	確保が求め	られるため、	指定管理者や	運営パートナー等と	の協議を踏まえた取り
(中長期	組みを行ってい	١<.						
期								
	(1)19年度予算見	1 積の方向性	○大幅増	○増	○ 増減	##>	)減 ○ 大幅減	咸 ○ 予算なし
1		DIE OVOIT 117	○人幅垣	○垣	○頃が	<b>%なり</b>		ペープ プログロー
年	(2)理由							
9年度方針		建設に係る19	年度の工事費	が、18年度	そに支払う工事	<b>事費よりも低く</b> 7	なることに伴い、当該	予算額が減となるため
万針	である。							
五一								

			1 7-70		-						•				
評価対	対象事	務事業名	郷:	土博物	]館運	営管理					整理	番号	84		枝番号
担当部	『課名	教育委員会事務局郷土	コ	ード	601131	連絡兒電話番		3317-	0841	昨年 整理		836			
	係名						上位施策名							No	
予算	<b>事業名</b>	郷土博物館運営管理			コード	82340	0	文化·芸術活	動の基盤	整備					66
			平成		元	年度			十画事業		行革計画	画事業	□協	協働計	画事業
						✓ 内部管	<b>管理</b>	根拠法令等	·=>+						
	対象	☑個人  ☑世詩	<b>₩</b> ✓ [	<b>当体</b>		他		(1) 博物館 (2) 杉並[	≅法 区郷土博	物館	条例				
事務	一般	区民						. ,	区郷土博			則			
事業		内容(事務事業の内容、		手順)				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)							
乗の概要	購 郷 生	3士資料の整理、保管作業を追入や寄贈の受入により、郷土の 3土に関する研究を進め、成果 3土に関する研究を進め、成果 注学習への支援、周知、普及 や質問、相談への応対等)を図	に関する(b を一般に に関する)	報告する	0		示解	・ 歴史的·文化的遺産の収集、保存、研究活動により、網の文化を守り育てる。						:より、郷土	
	活動	指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
	` '	購入資料、寄贈受領点						(1) 収蔵資料総数							
	(2)	作成報告書数(年報、館		(2) (代)報	接告書作所 年度	Σ∰ᢃ			目標	■ <i>は</i> 古	目標値に対				
区分     単位     15年度 実績 実績								計画	実績		18年 計		22年		する17年度の達成率%
		活動指標(1)	点		544		785	500	;	533		500			07.E/1%. + 70
指		活動指標(2)	点		3		3	3		3		3			
標		成果指標(1)	点	120	120,685 121,470		121,970	122,3	330	12	2,820				
		成果指標(2)	部	8	8,800	8,8	800	8,800	8,8	800					
	事業費		千円		3,297	5,	,018	5,020	5,	330		6,113	特記事(指標、事	耳頁 業費等の	O変化の理由など)
		(内)投資的経費等	千円		0		0	0		0		0			
		(内)委託費	千円	<del>千円</del> 0		0	0		0		0				
	職員	員数 (常勤   非常勤)	人	1.61	2.00	1.34	1.00	1.25 1.40	1.35	1.60	1.35	1.60			
総事業費	人件	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1	4,480	12,	,194	11,325	12,	231	1	2,231			
	費	非常勤職員分	千円		5,518	2,	,880	4,046	4,	624		4,624			
· □	総	·事業費 + +	千円	2	3,295	20,	,092	20,391	22,	185	2	22,968			
スト	単位	あたりコスト( - )÷	円	4	2,822	25,	,595	40,782	41,	623	4	15,936			
把握		受益者負担分	千円												
	財	国・都等からの支出金	千円												
	源	特定財源計 +	千円		0		0	0		0		0			
		差引:一般財源 -	千円	2	3,295	20,	,092	20,391	22,	185	2	22,968			
	受益	益者負担比率 ÷	%		0.0		0.0	0.0		0.0		0.0			
						内	ł	<b>容</b>			規	模	単位	事業	養(千円)
博物館運営管理(郷土資料購						購入、	「年報」等印	]刷等)		1		式		5,330	
	Z.O./H									)					C
	その他 (									J					U

		一儿儿口干皮	1/2	<u> </u>	产加于未可	<b> </b>     1人		
43/F F		活動指標(1)の17 年度達成率%	100	6.6	舌動指標(2)の17年 度達成率%	100.0	17年度予算 執行率%	106.2
17年度	₹予算執行状況 努力·未達理由等)	節減に努力し、有	効な運	営管理	が実施された。			
(18年) る場合	その改革案の取り組み状況 度予算を削減または増額してい 、関連する新規事業がある場 はその概要も明記)	の整理、調査、活	用に手	が回らた	着実に増加していい 状態である。 また資料の充実:			され、資料
事	事業開始当初から 現在までの変化	・ 館報として炉辺閑話を	年2回、	年報紀要	され、一般の寄贈と購 <i>)</i> を年1回発行している。 学校利用が増加してい		、年々資料の充実が図	図られている。
業環境の変	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・ 特に寄せられて	ハない。					
変化	今後の予測	・ 今後も資料の収	集を進	め、あわ	せて研究活動、適	Ѿ切な保存を図	図っていく。	
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )			っかけ	郷土に関する資料の となる。また、地域の ₹の社会科見学を中	歴史や文化を	学ぶ身近な施設とし	
事業	(2) 現在の事業費で成果を向 ある程度できる( )	上させることができるフ	か <b>・</b>		たは具体的内容:			
のあり方	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内	•	<b>~</b>	学校と 支援が	たは具体的内容: :の連携をより深め 可能となる。	ることにより、	よりスムースで細さ	りかな学習
点検	(3)受益者負担の見直し余地はない(理由 )		•	地域† を無料。	たは具体的内容: 専物館設立の趣旨 としているのは当然			ハて利用料
	(4)コストを下げる余地はあるかない(理由 )				たは具体的内容: 遺、臨時雇用人員なの	どは、必要最低	限の水準であり、こ	れ以上の削
協	(1)協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)	(具体的内容 )	•	協働等	∮の今後のあり方:	○実施継続	売 ○推進 ● 彳	<sub>亍政直轄</sub>
働等点	(2)協働等の相手			私的□	による成果と課題 耆好や流行に左右			
検	(3)協働等の形態				継続的に、適切に って実施すべきで		ていくためには、彳	可政自ら責 
今	成果: 〇増	現狀維持 () 漏	ŧ	コフト・	〇 増	● 現状維	<b>持</b>	

今後	成果:	○増	● 現状維持	○減	コスト:	○増	● 現状維持	○減
の	(1)改革第	その概要(いつまで	に、どういうかたち	(に) 事業(	のあり方点検札	闌を踏まえて記ん	λ	
事業のあり	学校、打	<b>指導室等と連絡</b> を	密に取り、教育	支援システ <i>L</i>	ሏを構築してい	١<.		
方	(2)改革第	を実施するにあた	っての阻害要因と	克服方法				
(中長期)	各学校	間で博物館に対	する対応にも違	いがある。教	員研修の積材	<b>亟</b> 的受け入れ、	指導室との協議を追	Eめる。
1	(1)19年度	度予算見積の方向性	生 大幅均	曽 ○増	●増	咸なし	)減 ○ 大幅流	咸 ○ 予算なし
9 在	(2)理由							
9年度方針	同様、「	司規模の事業を糾	迷続していく。					

							1481 188	•				
評価対	才象事:	務事業名	郷土博	<b>∮物館維持</b>	管理			整理番号	84		枝番号	
担当部	『課名	教育委員会事務局郷土	上博物館	3	コード	601131	連絡先 電話番号	3317-0841	昨年 整理		837	
	係名					上位施策名					No	
予算	事業名	郷土博物館維持管理		コー	<mark>۴</mark> 82900	文化·芸術活	動の基盤整備				66	
			●平成	元	年度		一事業	行革計画事業	□協	協働計	画事業	
					☑内部管理	根拠法令等	A\L					
	対象	☑個人  ☑世詩	<b>₩</b> ✓ [	団体 □ そ	の他	(1) 博物館 (2) 杉並[	в法 区郷土博物館	多例				
事	一般	区民				<b>V</b> /	≤郷土博物館 ≤郷土博物館					
務事業	活動	内容(事務事業の内容、	やり方、き	手順)		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)						
の	本館維持	、西田小学校展示室、村 管理	公ノ木遺	跡、館外収	蔵庫5か所の	利用者へ安全快適な施設環境を提供する。 文化遺産を適切な状態で保存・活用し、郷土の文化を						
概要	wt 1,7	<b>-</b> 7				守り育てる。 区民の郷土意識を高め、歴史文化認識を深める。						
						区氏の郷工息識を局の、歴史又化認識を深める。						
		指標名(式)				成果指標名(	, , ,	<b>適当な指標がなし</b>	ハ場合の	)代替指	<b></b>	
	` '	開館日数				(1) 入館者 (2) アンケ	旨奴 一ト結果(満足	た1 並涌た2	不滞を	_1 <i>L</i> ].	た亚均占)	
	(2)			15年度	( )	下版末(順定 <b>F</b> 度	18年度	目標		目標値に対		
		区分	単位	実績	16年度 実績	計画	実績	計画	22年		する17年度の達成率%	
		活動指標(1)	日	295	5 293	293	295	295				
指		活動指標(2)										
標		成果指標(1)	人	14,027	12,891	13,000	11,863	13,000				
		成果指標(2)	点	1	1	1	1	1				
		事業費	千円	26,95	6 26,945	30,249	28,465	31,420	特記事(指標、事	耳頁 業費等σ	D変化の理由など)	
		(内)投資的経費等	千円									
		(内)委託費	千円	千円 18,303 17,363		18,126	17,768	18,634				
445	職員	員数 (常勤 非常勤)	人	1.29 0.0	0 1.07 0.00	1.00 0.00	1.10 0.00	1.10 0.00				
総事業費	人件	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,60	2 9,737	9,060	9,966	9,966				
	費	非常勤職員分	千円		0 0	0	0	0				
	総	事業費 + +	千円	38,55	8 36,682	39,309	38,431	41,386				
スト	単位	あたりコスト( - )÷	円	130,70	5 125,195	134,160	130,275	140,292				
把握		受益者負担分	千円									
	財源	国・都等からの支出金	千円									
	源	特定財源計 +	千円		0 0	0	0	0	-			
		差引:一般財源 -	千円	38,55	8 36,682	39,309	38,431	41,386	ł			
	受益	益者負担比率 ÷ —————————————————————	%	0.		O.0 容	0.0					
	内							規模	単位	事業	養(千円)	
施設維持管理(光熱水費、維持 17年度の主な取組み						管理経費、施	設整備等)	1	式		28,465	
	その他 (						١				0	
			C 0.	(			J		1		U	

		1 13% 10 11/2	1/ -		ナックナネ	• н і	IPH 51			
47/5 🛱	- <del> </del>	活動指標(1)の17 年度達成率%	100	J. 7	活動指標(2)の 度達成率%	Ó		17年度予算 執行率%		94.1
	ē予算執行状況 努力·未達理由等)	・ 節電など経費の間・ 予算の範囲内で活					老朽化が進	んでいる。		
(18年)	の改革案の取り組み状況 度予算を削減または増額してい、 、関連する新規事業がある場 その概要も明記)	・ 18年度に、ガラス 収蔵庫として使用:				工事	、及び新たに	:小学校空き教	文室1	が所を
事業	事業開始当初から 現在までの変化	館外収蔵庫は、 建替えなどにより、 本館の用地は都	たびた 『からの	:び移動 )有償貸	動をせまられて( 資借であったが	いる( <del>-</del> 、平/	平成11年、14 成13年度より	4年、16年、17 無償貸借とな	年)。 った。	
環境の	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	予算が削減される こともあり、敷地境界								している
変化	今後の予測	開館より17年が経 手直しの必要な時期 管理には専門家から	月に来て	ている。	古民家、長屋	門に	ついては、文			
	(1)施策への貢献度は大きいか			理由:	存在は、文化・	<b>世</b> 法	活動の甘般	敕供そのまの・	である	
	貢献度 大(理由 )		▼	は日りノ	<b>计任16、人</b> 10、	五州	/ロ劉のを置:	金桶でのりの	(0)	0
事業	(2) 現在の事業費で成果を向 できない(理由 )	<mark>上させることができるた</mark>	) <sup>'</sup>	を収蔵	には具体的内容: ス庫として利用してし :び移転するため、	いる。3	空調設備がない	ため、資料の劣化	が見ら	れ、また
へのあり	成果向上のための方策		<b>—</b>	理由ま	たは具体的内	]容:				
方点	(3)受益者負担の見直し余地は			理由ま	たは具体的内	容	公立博物館は	<b>亜料が原則である</b>	がます	政的な問題と
検	ない(理由 )			受益者:	負担の考え方から、 年より中学生以下を	開館	時より観覧料を復		73 ( 743	DX 1 3 01-322 C
	(4)コストを下げる余地はあるか				たは具体的内					
	ない(理由 )		<b>—</b>	建物	の老朽化に伴	し、作	<b>多繕費がかさ</b>	むのはやむを	えなし	, I <sub>°</sub>
	(1)協働等は実現しているか			1 <del>7</del> 7 /41	<sup>∞</sup> . ο Δ / ε ο ± 11-	<u>.</u>				
協	一部実現している( へ )				等の今後のあり		○実施継続	売 ● 推進	〇行	政直轄
働	(2)協働等の相手		,		等による成果と記 き管理業務の多		季託している			
等点数	企業・個人事業者(へ)			・ 維持管理業務の多くを委託している。 ・ 植栽維持管理、消防設備保守点検、機械警備、電気工作物						
検	(3)協働等の形態 委託 「業務量の50%以上に相	当 / 目体的内容 \		保守点検、展示室模型清掃、昇降機設備保守点検、自動ドア 保守点検、印刷機保守点検、電話設備保守点検、収蔵庫燻蒸、						
	安託 [未務里の30%以上に出	3](共体的内存)		清掃	業務、古民家組	維持作	乍業、機械設	備保守点検等	€.	

	•	現状維持	○減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○減
(1)改革案の概要(し	1つまでに、	どういうかたちに	事業(	のあり方点検欄	を踏まえて記/	λ	
(2)改革案を実施する	るにあたって	の阻害要因と克	記服方法				
		材政負担が必要	要。学校校	舎の建替えに	あわせて、自	然空調を取り入れるよ	うな建設を計画する
(1)19年度予算見積	の方向性	○大幅増	●増	○増減	<mark>載なし</mark>	)減 〇 大幅減	○ 予算なし
(2)理 由							
館のみならず、付	属施設も含	≷めた管理・修	繕の計画を	主立てる。			
	経年劣化は避け 費用がかかるうえ、 ある。 (2)改革案を実施する ・ 収蔵庫建設には などの工夫が考え (1)19年度予算見積 (2)理 由	経年劣化は避けられず、年代費用がかかるうえ、資料保存にある。 (2)改革案を実施するにあたって・収蔵庫建設には、多額の財などの工夫が考えられる。 (1)19年度予算見積の方向性(2)理由	経年劣化は避けられず、年々大型の修繕費用がかかるうえ、資料保存に適した環境である。  (2)改革案を実施するにあたっての阻害要因とす・ 収蔵庫建設には、多額の財政負担が必要などの工夫が考えられる。  (1)19年度予算見積の方向性	経年劣化は避けられず、年々大型の修繕が必要にな 費用がかかるうえ、資料保存に適した環境ではない。性ある。  (2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法・収蔵庫建設には、多額の財政負担が必要。学校校などの工夫が考えられる。  (1)19年度予算見積の方向性	経年劣化は避けられず、年々大型の修繕が必要になると見込まれ 費用がかかるうえ、資料保存に適した環境ではない。恒常的に貴重 ある。  (2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・ 収蔵庫建設には、多額の財政負担が必要。学校校舎の建替えに などの工夫が考えられる。  (1)19年度予算見積の方向性  ○大幅増  ・ 増	経年劣化は避けられず、年々大型の修繕が必要になると見込まれる。また、館を費用がかかるうえ、資料保存に適した環境ではない。恒常的に貴重な資料の管理ある。  (2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・ 収蔵庫建設には、多額の財政負担が必要。学校校舎の建替えにあわせて、自などの工夫が考えられる。  (1)19年度予算見積の方向性  (2)理 由	経年劣化は避けられず、年々大型の修繕が必要になると見込まれる。また、館外収蔵庫については移 費用がかかるうえ、資料保存に適した環境ではない。恒常的に貴重な資料の管理、保存を行える収蔵庫 ある。  (2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・ 収蔵庫建設には、多額の財政負担が必要。学校校舎の建替えにあわせて、自然空調を取り入れるよなどの工夫が考えられる。  (1)19年度予算見積の方向性  (2)理 由  (2)理 由

評価対	<b> </b>	務事業名	運営協	編議会				整理番号	843	枝番号	
		教育委員会事務局郷土			コード	601131	連絡先電話番号	3317-0841	昨年度 整理番号	929	
	係名					上位施策名			正性田	No	
予算事	業名	郷土博物館運営	 学管理	コード	82340	文化·芸術活	動の基盤整備			66	
	事業	開始年度 〇 昭和 (	●平成	元	年度	□実施計	┼画事業 □ イ	行革計画事業	協働	計画事業	
	事業(	の種類 🗌 新規 🔲 一部 🥏	新規	臨時·単年度	✓ 内部管理	根拠法令等					
	対象	□個人□世帯	<b>声</b> □ [5	団体 🗸 その	他	(1) 博物館					
事	運営	協議会委員11名			ŀ	` '	区郷土博物館				
事 務 事	活動	内容 (事務事業の内容、1	もり方、『	手順)		, ,	区郷土博物館 <mark>(対象をどのよ</mark>		こいのか)		
業	学語	識経験者等11名の委員	からなる	5運営協議会		学識者のご	⅓場から、博物			こめの提言を	
の概	郷土	博物館の運営に関する	事項等を	を審議する。	ŀ	館長に対し行	<b>亍う。</b>				
要					l						
	活動技	指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
	(1)	会議開催数				(1) 提言作	<b>‡数</b>				
	(2)					(2)				□ <u>□ += /=  = +</u>	
		区分	単位	15年度 実績	16年度 実績	17年	手度 実績	18年度 計画	目標値 22年度	する17年度	
			日	4	4	計画 4	<u>美額</u>	4		の達成率% 4 100.0	
<b>+</b> ⊵		活動指標(2)									
指標		成果指標(1)	件	11	11	11	11	11	1	1 100.0	
		成果指標(2)	<del>                                     </del>								
		事業費	千円	428	468	498	426	498	特記事項		
	,	(内)投資的経費等	千円						(指標、事業資	等の変化の理由など)	
				0	0	0	0	0			
	마는	(内)委託費	千円						+		
総		員数 (常勤   非常勤) ■ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	人工四	0.30 0.00					<u>.</u>		
総事業費	人件	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,698	·			2,265			
費	費	非常勤職員分	千円	0	0			0	1		
	総	事業費 + +	千円	3,126	2,925			2,763			
ストロ	単位な	あたりコスト( - )÷	円	781,500	731,250	690,750	672,750	690,750	!		
把握		受益者負担分	千円								
	財	国・都等からの支出金	千円								
	源	特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
		差引:一般財源 -	千円	3,126	2,925	2,763	2,691	2,763			
	受記	益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
					内 容	容		規模	単位事	業費(千円)	
			運営協	弱議会の開催(	委員11名)			4	回	426	
	17年	度の主な取組み	<del> </del>				<del></del>				
			<u> </u>					$\vdash$			
			その	) 他						0	

4 = 6 = 6		活動指標(1)の17 年度達成率%	10	0.0	活動指標(2)( 度達成率			17年度予 執行率 <sup>9</sup>		85.5
	を予算執行状況 努力·未達理由等)	委員は11名、開催	予定数	数は4回	]だが、各回、	欠席者	首があるため	に上記執行	率とな	っている。
			2412	<b>Φ₩</b> ₩	C ナ/m ㅗ ##	lm&⇒ ∧ :	± 11 <del>+</del> 1- 0.1	マ/辛口、	<u> </u>	<del>+</del> 7 /07 <del> </del>
(18年)	をの改革案の取り組み状況 度予算を削減または増額してい	ここ3ヵ年でも、「これ 博物館のあり方につい 物館の運営に関する	ハて」	、「杉並	区立郷土博	物館基	本計画改定			
	、関連する新規事業がある場 はその概要も明記)						•			
事業	事業開始当初から 現在までの変化	平成元年の開館と同 11名となっている。	司時に	こ運営協	協議会を設置	してい	る。委員数は	t平成元年1.	2名、 <sup>I</sup>	₽成8年より
業環境の変	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特に寄せられていた	Ĵί,							
変化	今後の予測	今後も年4回程度の	開催	を予定	している。館	の運営	に関し、有益	益な提言が期	待され	เอิ
	(1)施策への貢献度は大きいか			理由:	÷4. 1.% > 4. 1.			+ナバニンでエレ つ	<del></del>	* /# <del></del> * . \
	貢献度 中(理由 )		_	間接 してい	的ながらも、! る。	是言を(	とおして又化	芸術沽動の	<b>基</b> 盤等	登備に貝献
	(2) 現在の事業費で成果を向	上させることができるか			<u>。</u> たは具体的I	内容:				
事業	ある程度できる( )		•							
の	成果向上のための方策			理由ま	たは具体的に	内容:				
あ り 方	手段・方法の変更(具体的内		•		回の限られた 各回テーマを					
点検	(3)受益者負担の見直し余地は				たは具体的に		-1+++1	まる 切羊人	へ江封	ことなって
作	ない(理由 )		▼	協議 諮問機	会の存在は食 関であり、受	温建昌に益者の	こは有金での 概念にはあ	かる。励議会( たらない。	ル泊割	川は皓長の
	(4)コストを下げる余地はあるか	١			たは具体的に		_ 101245 B / /		\ - \	
	ない(理由 )		<b>—</b>		額単価はここ とに抑えられて		まど増減なく、	通信費など	の必要	要経費も かんしん
	(1)協働等は実現しているか									
<del>↓カ</del>	十分に実現している( へ )			協働等	等の今後のあり	〕方:	◉ 実施継紙	売 ② 推進	〇 <del>行</del>	放直轄
協働	(2)協働等の相手				による成果と					
働等点	社団法人·財団法人等公益	団体( へ )			会委員は学記 るべき姿にて				∑場か	ら郷土博物
	(3)協働等の形態			un 05 05	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		с <b>д с v</b> челе			
	協働[実行委員会·協議会]	(具体的内容 )								
今 後	成果∶○増●	現状維持		コスト	; O :	增	● 現状維	詩(	〕減	
の	(1)改革案の概要(いつまでに、		業の		検欄を踏まえ	て記入				
事業の	運営協議会から意見や提言 博物館の基本構想の改正し					見し、ま	た実現に向	けて努めてき	た。	

	(1)改革案の概要(いつまでに、	どういうかたちに)	事業のあ	り方点検欄を踏まえ	て記入		
事業のあり	運営協議会から意見や提言 博物館の基本構想の改正に				見し、また実現	に向けて努めて	きた。
方	(2)改革案を実施するにあたって	の阻害要因と克	服方法				
(中長期)	特にない。						
' [	(1)19年度予算見積の方向性	○大幅増	○増	◉ 増減なし	○減	○大幅減	○ 予算なし
9 年	(2)理 由						
年度方針	運営協議会は館長の諮問権	<b></b> 関として重要な	存在であり	必要経費も最低限	lに抑えられ <sup>、</sup>	ている。	